

JISA ソフトウェアイノベーションシンポジウム 2023
～人とAIの共存によるDependableな社会の実現～
開催報告

令和 5年12月15日(金)、技術委員会(委員長：尾本昇 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 理事、副委員長：富安寛 (株)NTTデータグループ常務執行役)主催のシンポジウムが、会員企業エンジニアを中心に約 250 名の申し込みがありオンラインにて開催された。

基調講演では、日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 パートナー事業本部 パートナー技術統括本部 統括本部長 伊藤 信博 氏より、「マイクロソフトがAIで描く未来」、また、東京大学大学院 総合文化研究科 教授 鈴木 貴之 氏より、「AIをめぐる倫理的問題とその先にあるもの」の講演があった。

招待講演では、オリックス生命保険株式会社 執行役員 児玉 英一郎 氏より、PM Award 2023 優秀賞 / JISA DX 賞 を受賞した「ITモダナイゼーションプログラム」の講演があった。

経験報告セッションでは、本年度は「人とAIの共存によるDependableな社会の実現」をテーマとして、社会にインパクトを与える問題発見や顧客価値創出、生成AI等最先端技術等を実践、検討している事例を積極的に募集し、9 件の発表があった。伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 澤田 藤洋仁 氏 による「未来の基盤構築:オープンソース大規模言語モデルによるAIサービス開発の探求」がベストプラクティス賞、日本電気株式会社 吉村 直人氏による「ソフトウェアドキュメント検証による生産性・品質向上の取組みと社内での推進」、株式会社NTTデータグループ 海浦 隆一 氏による「Large Language Model(LLM)を活用したソフトウェア開発の可能性と応用方法」の2件が奨励賞を受賞した。また、Zoomのブレイクアウトルームに分かれて参加者交流の場を設け、経験報告の発表内容に関する意見交換を行った。

ワークショップセッションは、エンジニアリング部会が企画・運営し、「[Digital Transformation\(DX\)のための要求獲得実践ガイド](#)」に基づいた生成AIを用いて効果的に問題発見や価値創出等の要求獲得タスクを実行する方法を、グループワークで体験した。

本イベントの各講演動画は、1月12日(金)までアーカイブ配信を行う。

(溝尾)